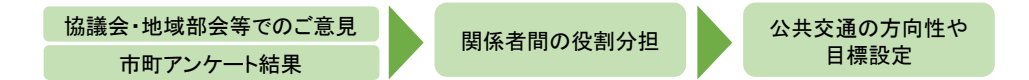


方向性や目標設定のプロセス

✓ 昨年度の協議会・地域部会等でのご意見や今年度実施した市町アンケート結果を踏まえ、**関係者間(県、市町、事業者等)の役割分担を明確**にした上で、**県全体の「公共交通の方向性」や「公共交通の目標」を検討**した。方向性や目標の検討に当たっては、公共交通の現状や課題、目標達成のための施策も見据えた一連の繋がりが確認できるよう整理した。



協議会・地域部会等でのご意見

会議名称	種別	意見内容
協議会	公共交通の方向性(案)	<ul style="list-style-type: none">「方向性(案)」で“将来”という言葉が使われているが、既に困っている方がいることから“将来”の使用は再考するべきである。5年かかっても実現し得ない目標から、喫緊に取り組むべき目標までが混ざっているため、方向性としての“将来”は不要である。「計画の実現＝栃木県」の公共交通が良くなることを示したいため、“とち木”の“木”を強調する必要はない。
	公共交通の目標設定の考え方	<ul style="list-style-type: none">課題・方向性・目標は1対1対応で検討するのが難しく、大きな目標を掲げ、小さな目標を検討するのはいかがか。目標①～⑤は優先順位であると解釈できるが並びについては要検討事項。「目標②:移動制約者の移動支援・利用促進」と、「目標③:誰もが利用しなくなる公共交通」は移動制約者についての言及はある内容が被っており、再整理が必要である。県民に伝えるメッセージを考慮し、優先順位は①～⑤の順で良いのか、目標については構造・階層を検討し、再整理すべきか等議論の余地がある。
	公共交通の目標	<ul style="list-style-type: none">目標④の「他分野との連携」について、実施中の自動運転等の新技術の活用に関するチャレンジが該当すると認識している。交通政策課以外の課との連携が全て「目標④:他分野との連携」に盛り込まれているため再整理が必要である。方向性や目標において、観光に関する記載が非常に少なく、検討する必要がある。目標に「住民・県民が何をしていくのか」という視点を入れていただきたい。住民がどのように公共交通を支えるのか考えることも重要であり、真岡市では“公共交通サポーター制度”を設けている。
	目標達成のための施策	<ul style="list-style-type: none">市町に取組を進めてもらいたいことを計画に記載すべきである。実現の手段として、補助制度を充実させるべきである。公共交通サービスを検討する際に、背景にコンパクト+ネットワークの考えなどがある方が良い。
地域部会	公共交通の目標	<ul style="list-style-type: none">幹枝葉で運行することを維持するため、沿線の市町や交通事業者との連携が必要不可欠であり、「目標⑤多様な主体が連携し、共創する公共交通」内の交通事業者との連携は際立たせても良いと思う。
	目標達成のための施策	<ul style="list-style-type: none">ICカード導入支援(県統一カード)財政的支援、補助制度の見直し、補助等における資料の簡略化広域路線における他市町との調整・補助 等

市町アンケート結果 ⇒結果詳細は参考資料参照

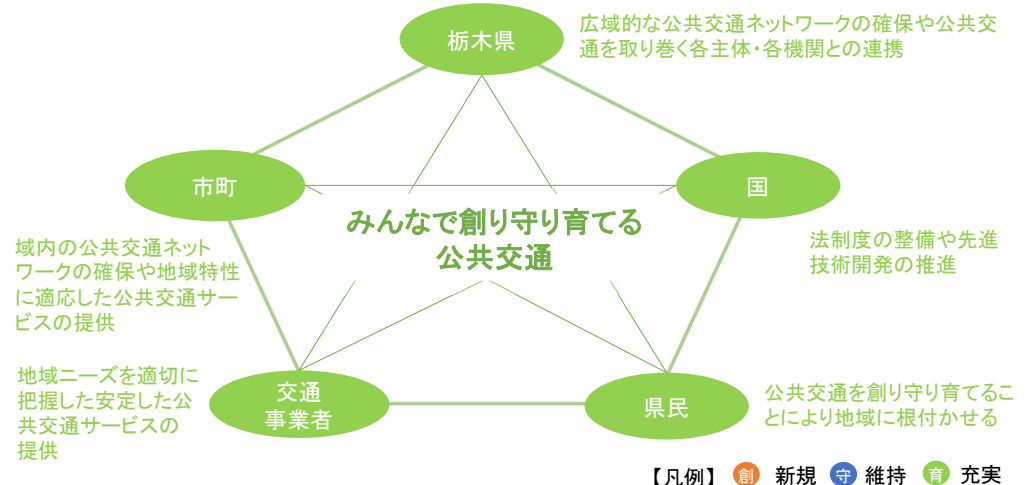
✓ 各市町で重要度が高いと回答したものは「公益性」「利便性」と回答したものが多く、事業者で重要度が高いと回答したものは「持続可能性」「公益性」と回答したが多い。対して、県に求めることの重要度が高いと回答したものは「他地域とのつながり」「利便性」「公益性」「持続可能性」と回答した市町が多い。

✓ 市町や事業者の重要度と県に求めることの重要度を比較すると、回答傾向が異なるため、市町の重要視していることと県に求めることは異なることがわかる。

関係者間の役割分担

✓ 本県の関連計画の位置づけも踏まえ、県、市町、交通事業者等のそれぞれの主な役割を以下に示す。

✓ 県と市町の役割分担については、**市町は域内の生活交通、県は広域的な幹線交通について主に担う**こととし、県、市町等の各主体が連携・協働して公共交通ネットワークを創り守り育てる。



主体	主な役割	具体的役割	出典
栃木県	広域的な公共交通ネットワークの確保	<ul style="list-style-type: none">創 栃木県地域公共交通計画の策定(改定)・推進守 広域的な幹線公共交通ネットワークの確保創 広域的・幹線的な交通に関する施策の実施	<ul style="list-style-type: none">他県計画とちぎ生活交通ネットワークガイドライン
	公共交通を取り巻く各主体・各機関との連携	<ul style="list-style-type: none">育 幹線交通を支えている交通事業者・市町への助言・運行支援・情報提供の充実守 各機関の他計画との連携・調整守 複数の地域関係者(市町・交通事業者等)間の調整育 補助を含む諸制度の充実・支援	<ul style="list-style-type: none">とちぎ生活交通ネットワークガイドラインとちぎ公共交通ネットワーク形成基本指針
市町	域内の公共交通ネットワークの確保	<ul style="list-style-type: none">創 地域公共交通計画の策定(改定)・推進守 市町域内の生活交通ネットワークの確保	<ul style="list-style-type: none">他県計画
	地域特性に適應した公共交通サービスの提供	<ul style="list-style-type: none">創 交通事業者や地域住民との連携・協働による地域特性に適應した効果的・効率的な運行サービスの導入育 地域関係者との連携や住民への情報提供の充実	<ul style="list-style-type: none">とちぎ生活交通ネットワークガイドラインとちぎ公共交通ネットワーク形成基本指針
国	法制度の整備	<ul style="list-style-type: none">育 地域課題等に対応した法制度の整備や財政的支援の充実	<ul style="list-style-type: none">他県計画
	先進技術開発の推進	<ul style="list-style-type: none">創 自動運転等の先進技術開発の推進	<ul style="list-style-type: none">とちぎ生活交通ネットワークガイドライン
交通事業者	地域ニーズを適切に把握した安定した公共交通サービスの提供	<ul style="list-style-type: none">創 地域ニーズを把握するための各種データ提供守 地域のニーズを踏まえた安定した公共交通サービスの提供守 利用者に対するわかりやすい情報の提供創 新たなニーズを喚起する取組の実施	<ul style="list-style-type: none">とちぎ公共交通ネットワーク形成基本指針
県民(学校・企業等を含む)	公共交通を創り守り育てることにより地域に根付かせる	<ul style="list-style-type: none">守 モビリティ・マネジメント(MM)への積極的な参加(積極的な公共交通の利用により運行本数の増加等に繋げる)育 学校・企業等による通勤通学者への公共交通利用の呼びかけの充実創 公共交通に関する要望(住民発議の新規路線等)の提示	<ul style="list-style-type: none">他県計画

【施策1-1】広域交通ネットワーク維持・形成 県

- ・多様な輸送資源の活用
- ・広域バスの導入促進や関係者との調整
- ・新交通等の整備推進支援
- ・幹・枝・葉での運行に向けた検討

【施策1-2】適切な交通モードの選択 県市

- ・デマンドバスに頼りすぎない側面もあるため、地域特性に応じた適切な交通モード選択への助言・指導（相談窓口、複数自治体での検討等）
- ・地域共助型生活交通の導入支援

【施策1-3】補助制度の見直し 県

- ・栃木県の市町村生活交通路線運行費補助等、補助制度の見直し
- ・人にやさしいバス整備事業費補助制度
- ・人にやさしいユニバーサルデザインタクシー整備事業費補助金

【施策2-1】立地適正化計画との連携 県市

- ・立地適正化計画の策定・推進

【施策2-2】交通結節点の整備 県市交

- ・交通結節点の整備
- ・交通結節点からの二次交通の充実
- ・公共交通のバリアフリー化の促進（栃木県鉄道駅バリアフリー化整備補助制度等）

【施策2-3】適切なサービス水準の確保 県市交

- ・地域公共交通計画の策定・推進
- ・各種交通モードと連携した運行本数の確保
- ・地域のニーズを踏まえた運行の効率化

【施策2-4】情報提供・発信 県市交

- ・リアルタイムなバス運行情報の見える化の促進
- ・県内の主要駅におけるバスの案内表示の統一化、多言語表記

【施策2-5】観光施策との連携 県市交

- ・MaaSの活用による周遊観光の促進
- ・シェアサイクルの導入促進

【施策2-6】DXなどの新技術の導入・活用 県市交

- ・交通情報共有基盤の構築／MaaSへの展開検討
- ・交通系ICカード導入・活用の促進
- ・キャッシュレス導入支援

【施策3-1】モビリティ・マネジメントの推進 県市交住

- ・バス・鉄道利用デーの実施
- ・オフピーク利用の促進、エコ通勤の推進
- ・のりもの／のりかたガイドブックの作成・配布

【施策3-2】県民による取組の促進 県市住

- ・県民による取組の推進に向けた助言・支援
- ・住民主体による公共交通運行（清原さがりけ号）
- ・トリガー方式を活用した路線の開拓
- ・公共交通サポーター制度の検討

【施策3-3】市町や事業者の取組への支援 県

- ・市町職員向け公共交通勉強会の実施
- ・県内の第三セクター鉄道に対する支援（鉄道網整備促進事業）
- ・路線バス等の生活交通の運行支援
- ・タクシー利便増進の取組に対する支援

【施策3-4】交通関係機関間士の連携 県

- ・沿線や地域の事業者、市町・県による定期的な意見交換の実施（地域部会や協議会の継続）
- ・「とちぎの公共交通」の作成・公表

【施策3-5】新技術の導入・活用 県市交

- ・無人自動運転移動サービス導入検証事業（ABCプロジェクト）の推進やAIデマンド交通等の新たな公共交通システムの導入促進
- ・GX等、他部署で所管する取組との連携